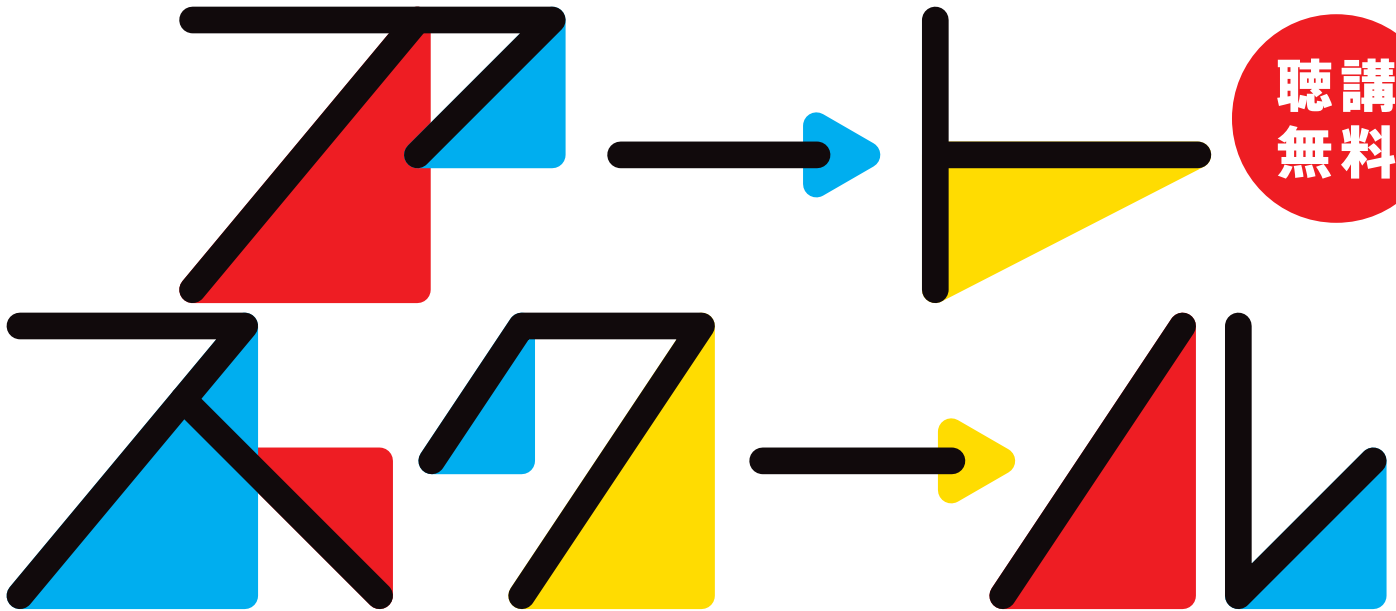




群馬大学 × アーツ前橋



ま え ば し



聴講  
無料

計

MAEBASHI  
ART SCHOOL  
PROJECT

画

連続講演会

基礎講座 4 食とアート

6月19日(日) 13:00 - 15:30

会場: アーツ前橋スタジオ

定員: 先着 50名

フーズケープ(食風景)のデッサン:  
〈食べもの〉と〈食べものではないもの〉の  
あわいに生きるということ

東京造形大学教授 森岡 祥倫

食はアートになりえるか?  
コミュニケーションツールとしての  
フードを考える

アーティスト・NPO法人フードデザイナーズネットワーク理事長  
中山 晴奈

基礎講座 5 福祉とアート

7月16日(土) 13:00 - 16:00

会場: シネマまえばし(アーツ前橋と同じ建物の3階)

定員: 先着 100名

アトリエインカーブのアートマネジメント:  
アートと福祉の間で起こっていること

アトリエインカーブ  
今中 博之 (skype 出演) + 三宅 優子

境界は揺らいでいるのか  
~グローバル化と障がい者の創作活動

甲南大学准教授 服部 正

お申込み方法

事前申込制  
電話にて受付けます

各回前日までに、参加希望日、参加者氏名、日中連絡のつく  
電話番号をお知らせください。先着順とし、定員に達した  
場合は締め切りとさせていただきます。

アーツ前橋

027-230-1144

# 群馬大学 × アーツ前橋「まえばしアートスクール計画」連続講演会

アーツ前橋では、開館前から情報発信や地域の文化活動のアーカイブ、サポーター育成、講演会などさまざまなアートスクールを開催してきました。本年度のアートスクールでは、映画や福祉、医療、食などをテーマに連続講演会を開催します。さまざまな分野で活躍する方の話を通して、いつもとは少し違う角度で現代の表現のあり方、コミュニケーションの可能性について考えてみる機会になるでしょう。みなさまのご参加をお待ちしています。

なお、本事業は、群馬大学がアーツ前橋と連携した「美術館等と連携する地域アートプロジェクトを活用するアートマネジメント人材育成プログラムの構築と実施・評価」事業の基礎講座として実施します。

## 基礎講座4「食とアート」

6月19日(日) 13:00 - 15:30

フードスケープ(食風景)のデッサン：  
〈食べもの〉と〈食べものではないもの〉の  
あわいに生きるということ

森岡 祥倫 (もりおか・よしとも)

東京造形大学教授・芸術と科学技術の関連史研究。  
1952年生まれ。筑波大学芸術研究科修士課程修了。出版社・映像制作会社勤務を経て自治体・企業等の文化事業に関わる一方、美術・文芸誌等で評論活動を行う。東京工芸大学、大阪成蹊大学などを経て現職。共著に『アートと社会のえんむすび1996-2000』『情報の宇宙と変容する表現』他。近年はフードシステムにおける信用体系の変容をディープ・エコロジー、環境倫理学、ポストモダニズム美学の視点から捉える調査研究を行っている。



食はアートになりえるか？

コミュニケーションツールとしての  
フードを考える

中山 晴奈 (なかやま・はるな)

アーティスト。1980年千葉県生まれ。筑波大学、東京芸術大学大学院修了。美術館でのワークショップやパーティーのスタイリングをはじめ、日本各地で商品開発などの食を通じたコミュニケーションデザインを行う。慶應義塾大学SFC非常勤講師、NPO法人フードデザイナーズネットワーク理事長。みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ2016参加アーティスト。2014～2015年、ポート・ジャーニープロジェクトでパーゼルと横浜の交換アーティストとしてレジデンスと個展、ほか多数。



Photo: Martin Zeller

## 基礎講座5「福祉とアート」

7月16日(土) 13:00 - 16:00

アトリエ インカーブのアートマネジメント：  
アートと福祉の間で起こっていること

今中 博之 (いまなか・ひろし)

社会福祉法人 素王会理事長。アトリエ インカーブクリエイティブディレクター。イマナカデザイナー級建築士事務所代表。一級建築士。先天性下肢障がい。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会エンブレム委員、文化・教育委員。厚生労働省・文化庁「障害者の芸術振興に関する懇談会」構成員。(株)乃村工芸社デザイン部を経てアトリエ インカーブを設立。知的に障がいがあるアーティストの作品を世界に発信している。賞歴：Gマーク等。著書：『観点変更 なぜ、アトリエ インカーブは生まれたか』(創元社)等。



三宅 優子 (みやけ・ゆうこ)

社会福祉法人 素王会 アトリエ インカーブ チーフ。金沢美術工芸大学デザイン学部視覚デザイン科を卒業後、2007年よりアトリエ インカーブのスタッフとして勤務。アトリエ インカーブに所属する知的に障がいがあるアーティストたちの創作活動をサポートしている。2010年に開廊した「ギャラリー インカーブ | 京都」(アトリエ インカーブ専属の商業ギャラリー)の立ち上げに携わり、主に作品の管理や国内外のアートフェア業務などを担当。社会福祉士、学芸員の資格を有する。



境界は揺らいているのか

～グローバル化と障がい者の  
創作活動

服部 正 (はっとり・ただし)

甲南大学准教授・芸術学・美術史。兵庫県出身。大阪大学大学院博士課程単位取得退学。兵庫県立美術館(1995～2012年)、横尾忠則現代美術館(2012～2013年)学芸員を経て、2013年4月より現職。アウトサイダー・アート、アール・ブリュットなどと呼ばれる独学自修の芸術家や、障がい者の創作活動についての研究や展覧会企画を行っている。著書に『アウトサイダー・アート』(光文社新書、2003年)、『解剖と変容』(共著、現代企画室、2012年)、『山下清と昭和の美術』(共著、名古屋大学出版会、2014年)など。



会場

アーツ前橋スタジオ / シネマまえばし (アーツ前橋と同じ建物の3階)



Pマークの駐車場のご利用に際しては、駐車券に割引処理いたします。

### 会場までのアクセス

#### 【公共機関】

JR 前橋駅から徒歩約10分  
上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分

#### 【自動車】

関越自動車道 前橋ICから車で約15分

### お問い合わせ

#### アーツ前橋

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16  
tel:027-230-1144 fax:027-232-2016  
URL : <http://artsmaebashi.jp/>  
e-mail: [artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp](mailto:artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp)

主催：群馬大学 共催：前橋市

助成：平成28年度文化庁大学を活用した文化芸術推進事業「美術館等と連携する地域アートプロジェクトを活用するアートマネジメント人材育成プログラムの構築と実施・評価」

